

元気な草加 優しい越谷

NEWS LETTER

衆議院議員・弁護士

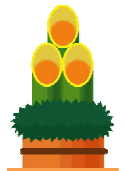
細川律夫



2009年1月5日 No.146

細川律夫国会事務所 Tel 03-3508-7513 Fax 03-3593-7148 E-mail g04091@shugiin.go.jp
南越谷事務所 Tel 048-989-8788 Fax 048-989-5300 HP: http://www.hosokawa-ritsuo.jp/

明けましておめでとうございます



衆議院議員 細川律夫

本当に選挙の年です

旧年中は大変お世話になりました。昨年は「総選挙がある」といわれながら、皆様にもいろいろ準備をお願いしたにもかかわらず、麻生総理の決断力の乏しさのために解散が先送りになり、ご迷惑をおかけしました。しかし、衆議院の任期は今年9月までであり、今年こそ必ず選挙が行われます。政権交代という言葉も最近ではますます現実味を帯びてまいりましたが、そうしたご支援の声に慢心することなく、しっかりと準備をしていかなければならないと肝に銘じているところです。

法務と労働の担当として

昨年は、忙しいなかにも充実感のある一年でした。一昨年から、民主党『次の内閣』法務大臣として法務



参議院厚生労働委員会で、修正案提案者として答弁

分野を担当しつつ、労働関係の法案については、その都度担当してまいりましたが、今回の急速な雇用情勢の悪化により、労働法制担当の出番が増えたためです。急遽、政策や法案作りを行う「非正規雇用対策プロジェクトチーム」が作られ、その座長に就任し、また、菅直人代表代行を本部長とする「緊急雇用対策本部」の事務総長に任じられ、政策だけでなく街宣活動も仰せ付けられまして、本当に身一つでは足りないような忙しさです。これも、今まで衆議院議員を6期18年余りの経験に基づいてできる仕事という面もあり、皆様にこれまで育てていただいたことに心から感謝申しあげるところです。



緊急雇用法案について有楽町マリオン前で訴える

緊急雇用対策法案を作る

しかしながら、いくら党内で政策を立案し、法律案を提案しても、野党としての限界を強く感じざるをえ

ません。今まで約20本の議員立法を手がけてまいりまして、それぞれ一定の成果は上がってはいますが、現実に法案そのものが成立したのは、環境委員長として提案した「グリーン購入法」(官公庁が率先して環境にやさしい製品を購入することを義務付けるもの)だけです。

先の臨時国会でも、私が中心となって策定した「緊急雇用対策関連4法案」は、過半数を取っている参議院では可決しましたが、衆議院では与党の多数の前に涙を飲まざるをえませんでした。麻生総理は「政局より政策」と言って解散を先送りしたものの、具体的な政策はまったく実行しません。その間に、経済は急に悪化し、派遣切りや雇止めによって、大量の失業者が生まれ、住む所さえも確保できない、あるいは就職が決まった学生の内定が取り消され、どうにもならない、という事態が進行しました。こうしたなかの緊急な提案でありましたから、与党による否決は、これらの法案の成立を待ち望んでいる人のことを考えると、憤りすら覚えました。



心から政権交代を願う

ですから、私は何度も政権交代の必要性を力説しなければなりません。

第一に、政権交代は私たちの理念を実現するためです。「国民の生活が第一」というスローガンが表しているように、まずは生活を優先する、そして、男女の共生、環境の保全、人権の保障など、さまざまな理念に基づく政治を行っていく、そのための政権交代でなければなりません。

第二に、自民党の長期政権によって表れたいろいろな歪みをただしていくことです。政権は長期になれば腐敗します。これは古今東西を見れば真実であること

が分かります。現在、政権交代のない国は、中国、北朝鮮、キューバくらいしかありません。交代によって政権のアカを落していく、これが、民主主義国家の常識です。

第三は、官僚政治の打破です。年金記録問題、汚染米の問題、道路財源のムダづかい、どれをとっても、長年自民党政権が、政治を官僚に丸投げしてきたツケが表面化したものです。

ぜひとも、今年行われる総選挙では、皆さんとともに、政権の交代を訴え、政権を奪取していく決意です。

地域の課題に取り組む

埼玉3区、草加、越谷の地域の問題もたくさんあります。

越谷レイクタウンのまち開きが行われ、武蔵野線新駅が開業し、大型商業施設には多くの人々が訪れています。まちづくりが進んでいますが、道路やバスなど交通の問題はまだまだ未解決です。また、この不況下でどう皆さんに住んでもらうかという点も問題です。

東埼玉道路の延伸は調査費が昨年度計上され、一応将来の展望が見えてきましたが、今後注視していく必要があります。

草加・越谷両市の市立病院も、他の公立病院同様、医師や看護師の不足に悩んでいます。介護や高齢者福祉の施設も不十分です。いずれの問題も地方自治だけでは解決しません。国、県、市の連携が必要であり、特に医療・介護・福祉の問題は国の施策や予算が大きな比重を占めています。

今後とも、地元の皆さんと話し合い、連携しながら、こうした課題に取り組んでまいります。



草加市の「福祉まつり」に参加